

兵庫教育大学学術情報リポジトリ(仮称)

— 概要説明 —

2006. 10. 24

発表者：学術情報課学術情報チーム 永井

本日お話しすること

- 機関リポジトリとは
- リポジトリ導入のメリット
- 本学がめざすリポジトリ
- 先生方にお問い合わせすること

■ 機関リポジトリとは (Institutional Repository)

大学等の学術機関内で生産された、**電子的な**知的成果物を**永続的に**蓄積し、インターネットを通じて**無償**で発信するためのシステム。

【 知的成果物とは 】

学術論文、学位論文、研究プロジェクト報告書、プレプリント、学会発表資料、教材等

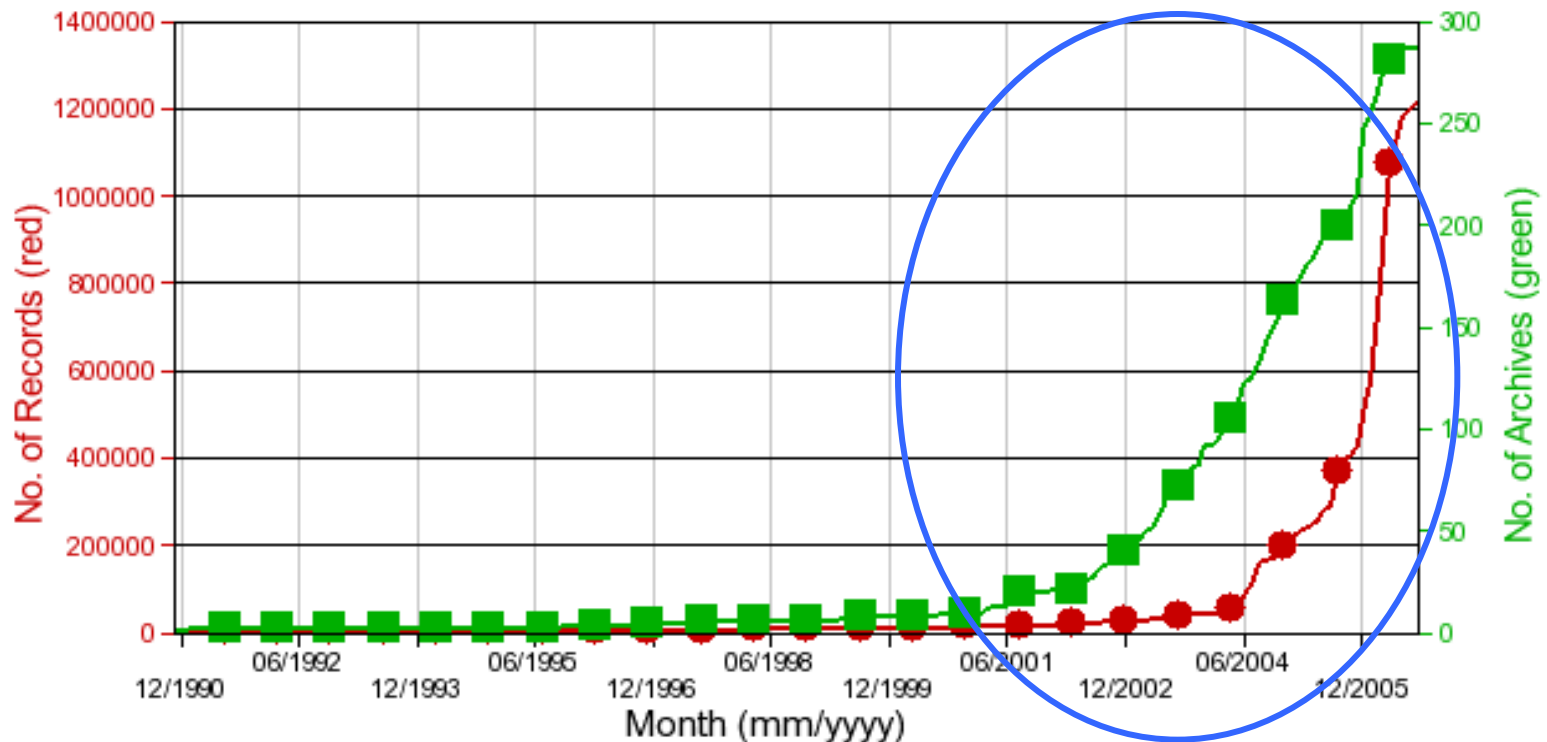
【 導入事例 】

世界で735機関、国内では20機関 (2006年8月末)

■世界の動向

Growth of Institutional Archives and Contents

Generated by <http://archives.eprints.org/>



- Number of Records
- Number of Archives containing these records

■ 国内の動向

平成16年度 学術機関リポジトリ構築ソフトウェア実装実験プロジェクト
国立情報学研究所(NII)と国立大学図書館による共同プロジェクト
参加機関: 北海道大学、千葉大学、東京大学、東京学芸大学、
名古屋大学、九州大学

平成17年度 NIIによる機関リポジトリ構築・連携委託業務
筑波大、京都大学、広島大等19大学に委託

平成18年度 NII次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業
(リポジトリ構築に関する提案型公募事業)
57大学採択
— 兵庫教育大学 大阪教育大学 奈良教育大学

■ リポジトリ導入のメリット

1. 研究成果の効果的な発信

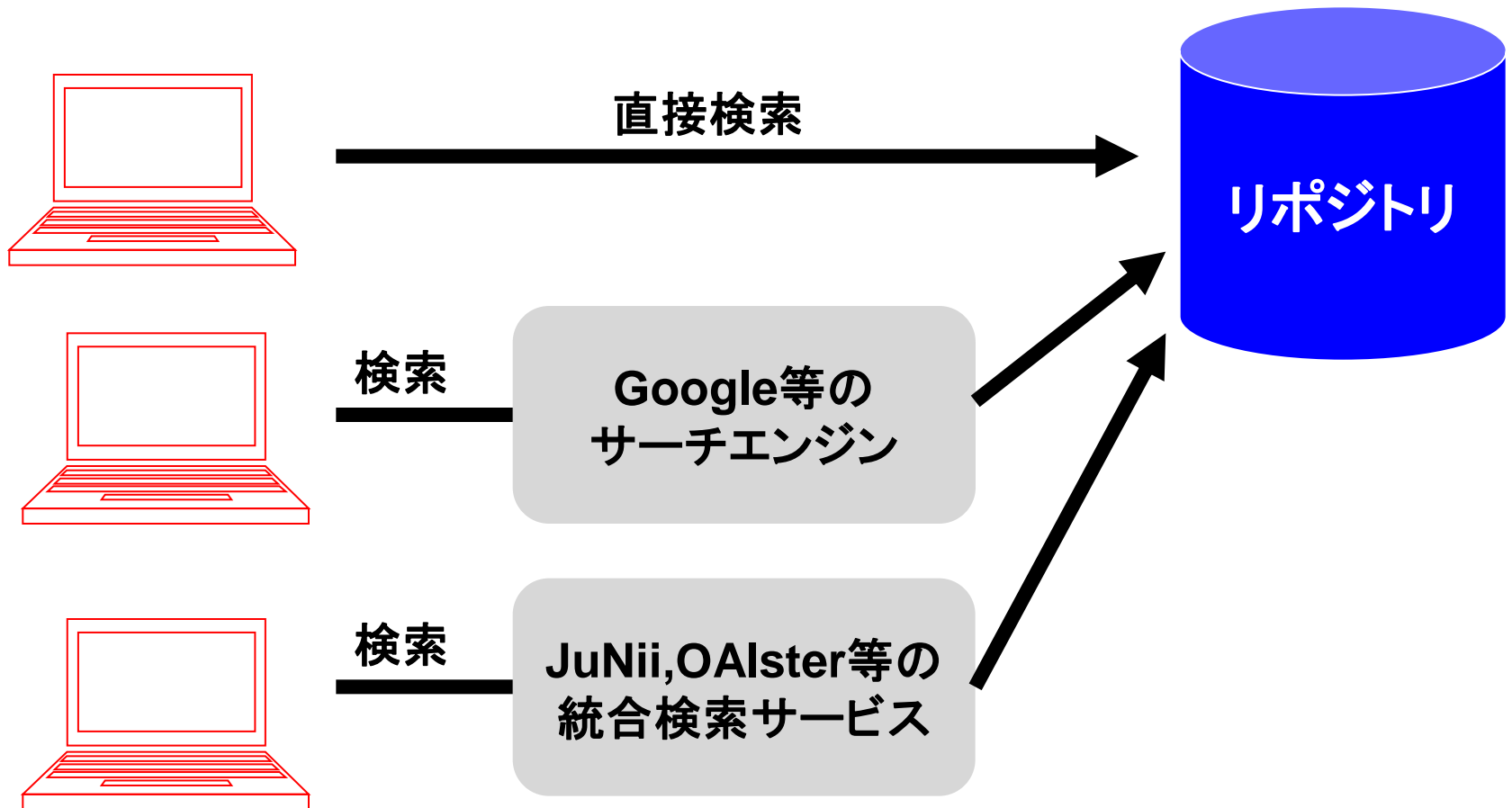
2. 学内データベースの一元化

3. 学術コミュニケーションシステムの変革

4. 大学の説明責任の遂行・社会貢献

■ メリット その1

【 研究成果の効果的・効率的な発信 】



■ メリット その1 【 研究成果の効果的な発信 】

- ・さまざまな検索サイトからアクセス可能

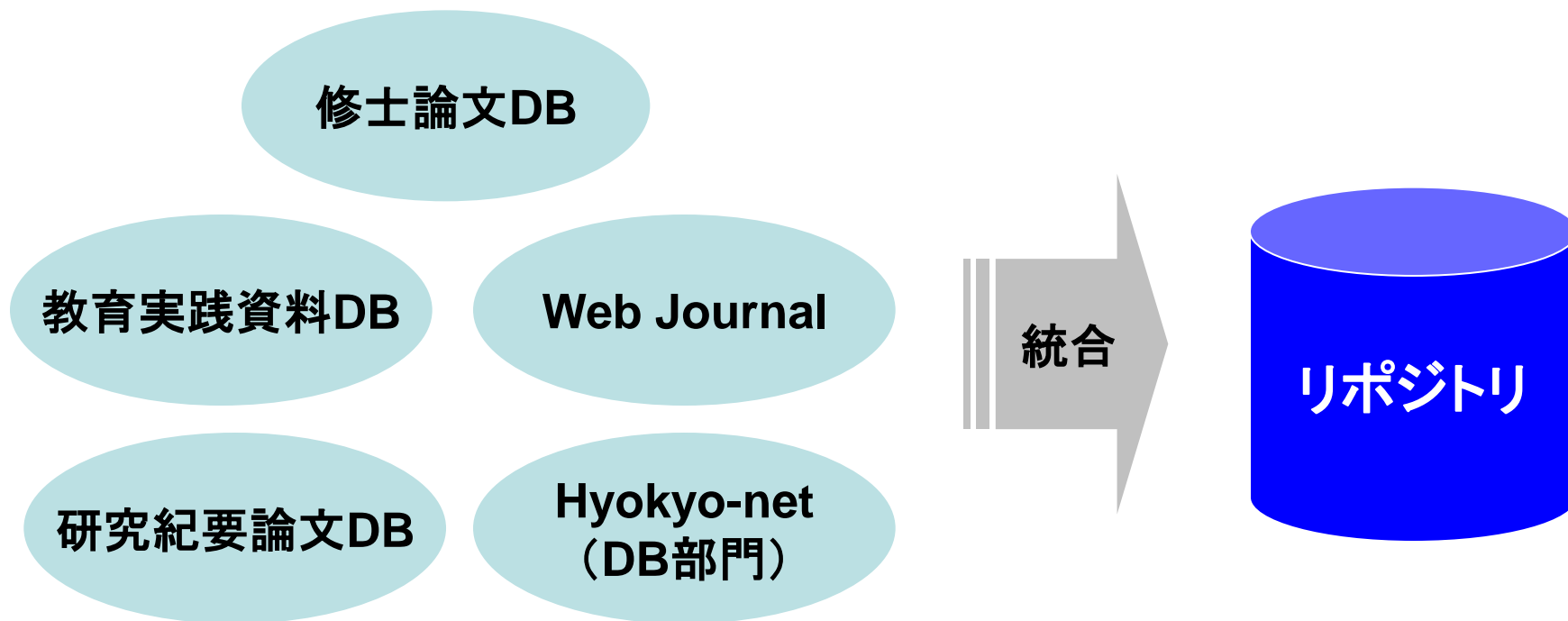
Google	全文検索型サーチエンジン
Google Scholar	学術情報に特化したGoogle
JuNii	国内大学機関の学術情報ポータル。 国立情報学研究所提供
OAlster	世界中のリポジトリの統合検索が可能。 ミシガン大学提供



研究成果の可視性の向上・被引用機会の増加

■ メリット その2

【 学内データベースの一元化】



学術情報のワンストップサービスの実現

■ メリット その3

【 学術コミュニケーションの変革 】

外国雑誌価格の高騰



論文読者の減少

民間の研究者

雑誌購読規模を維持できない大学の研究者

「自分で書いた論文が自分が所属する大学で読めない」



学術コミュニケーションの停滞



オープンアクセス運動としての機関リポジトリ



誰でも、いつでも、どこでも、アクセス可能な環境

※オープンアクセス運動・・・インターネットを通じて論文に無料でアクセスできる環境をつくりだそうとする運動。

■ メリット その4 【 大学の説明責任の遂行・社会貢献 】

教育研究活動をショーウィンドウ化することで・・・



納税者に対する説明責任の履行



大学の知名度・ブランドイメージの向上



地域連携・産学連携の促進



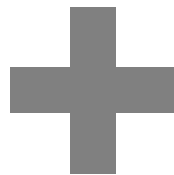
大学と学校現場をつなぐチャンネルの創造

■ 本学がめざすリポジトリ

【 目的 】

兵庫教育大学が産出する学術論文等の学術研究成果物
及び小・中・高校等が産出する教育実践に関わる資料を蓄
積し、公開すること。

本学の
学術研究成果物



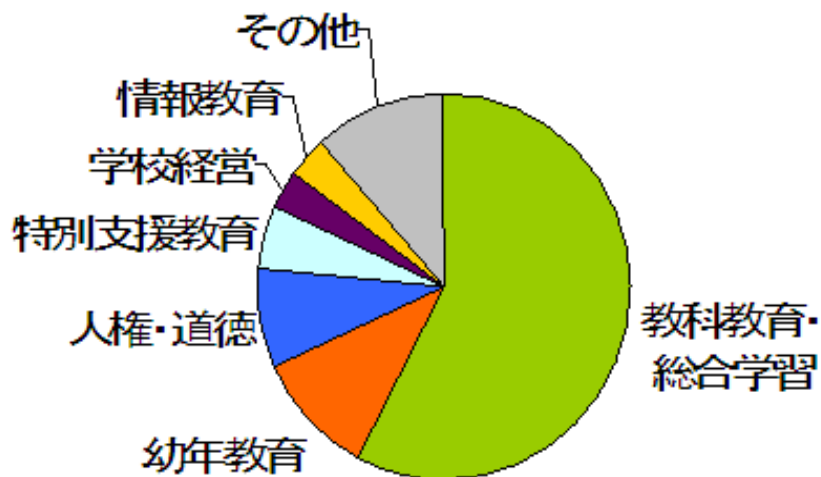
学校現場の
教育実践資料

■ 搭載予定コンテンツ

タイプ	保有者
学術雑誌掲載論文	研究者
科学研究費補助金研究成果報告書	研究者
学位論文	学生
教育実践資料	学校機関

■ 教育実践資料とは

文部科学省や県・市・郡等の研究指定校の報告書や、小・中・高校などで独自に作成した副読本、授業の実践記録など、学校現場で作成された、学校教育の理論的、実践的な資料。



【例】

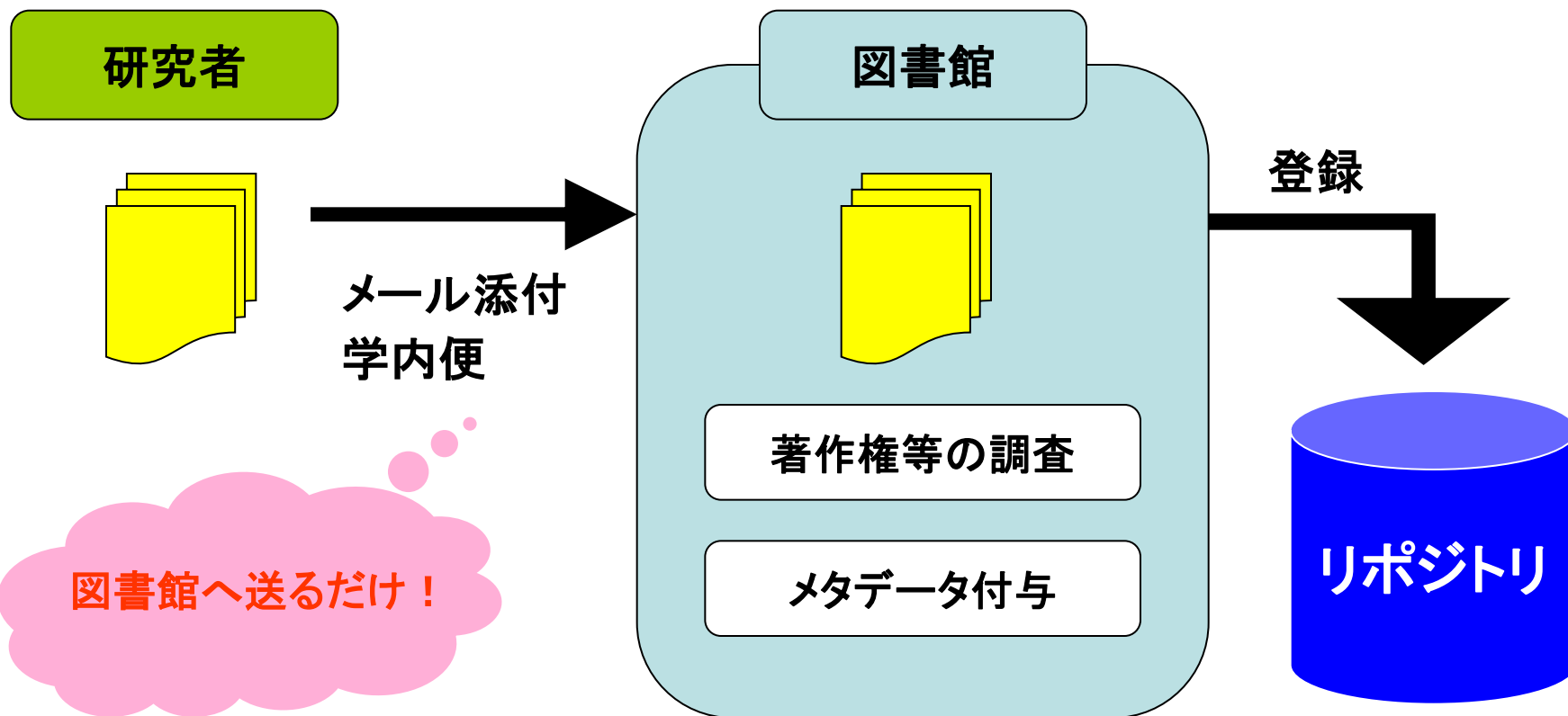
授業の創造：コミュニケーションを育てる
/ 西宮市立高木小学校 [著]

伝統文化教育推進事業研究報告
/ 南淡町立南淡中学校 [著]

平成13年度エイズ教育(性教育)実践のあゆみ
/ 小野市立河合小学校 [著]

■ 先生方をお願いすること

論文などのコンテンツをご提供ください。



■ 著作権について

研究成果物をリポジトリに搭載するには・・・

- | | |
|-----------------------|-----------|
| ① 本人が著作権を有している場合 | 本人の許諾が必要 |
| ② 本人及び共著者が著作権を有している場合 | 全員の許諾が必要 |
| ③ 出版社が著作権を有している場合 | 出版社の許諾が必要 |



※海外出版社の9割以上が、雑誌掲載論文を本人及び大学のサーバから無償で公開することを認めている。

今後すべきこと

- WGの設置

- 学内広報

 - ポスター作成、説明会開催、研究室への営業活動

- 本学リポジトリタイトルの決定

 - 北大「HUSCAP」、千葉大「CURATOR」、金沢大「KURA」

- 運用指針策定

 - 登録者の要件、学術成果物の要件、利用条件など

リポジトリに関するお問い合わせ

兵庫教育大学附属図書館
学術情報課学術情報チーム

内線：2061

【 準備サイトURL 】

http://www.lib.hyogo-u.ac.jp/protect/repo_test/repository.html